



小曾根真
OZONE
MAKOTO

尾高忠明

Otake
TADAAKI

PROGRAM

シベリウス / アンダンテ・フェスティーヴォ

ガーシュウィン / ラプソディ・イン・ブルー

ドヴォルザーク / 交響曲第8番 ト長調 作品88, B.163

指揮 尾高忠明 ピアノ 小曾根真 管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団

2023.

11.21 火

18:45開演(18:00開場)

愛知県芸術劇場
コンサートホール

photo: Kazuyoshi Shimomura (AGENCE HIRATA)

©Martin Richardson

プラチナ席 7,000円 S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円 (全席指定・税込)

8/19 10:00~ 一般発売開始

プレイガイド **アイチケット** ☎0570-00-5310 **アイチケットWeb** 検索 (座席選択可)
芸文プレイガイド ☎052-972-0430 チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

主催：株式会社 豊田自動織機 お問合せ：♪クラシック名古屋 ☎052-678-5310

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。※未就学のお子様のお入場はご遠慮ください。

入場料の一部を活用し、愛知県と東北被災地の小学校にてミニコンサートを実施しております。



指揮

尾高 忠明

Tadaaki Otaka

1947年生まれ。国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン交響楽団、ベルリン放送響等世界各地のオーケストラへ客演。1991年度サントリー音楽賞受賞、1997年エリザベス女王より大英勲章CBEを受章、1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号、ウェールズ大学より名誉博士号、1999年英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与される。2012年有馬賞(NHK交響楽団)、2014年北海道文化賞、2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞、日本放送協会放送文化賞、2019年第49回JXTG音楽賞洋楽部門本賞を受賞。2021年旭日小綬章を受章。現在大阪フィル音楽監督、NHK交響楽団正指揮者、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団桂冠指揮者、札幌交響楽団名誉音楽監督、東京フィル桂冠指揮者、読売日本交響楽団名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠名誉指揮者。2010~14年新国立劇場オペラ芸術監督。2021年「東京国際音楽コンクール(指揮)」審査委員長に就任。後進の指導にも力を入れ、東京藝術大学名誉教授、相愛大学、京都市立芸術大学客員教授、国立音楽大学招聘教授を務めている。



ピアノ

小曾根 真

Makoto Ozono

1983年パークリー音大を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。2003年グラミー賞ノミネート。チック・コリア、デイリー・バートン、ブランフォード・マルサリス、バキート・デリベラなど世界的なプレイヤーとの共演や、自身が率いるトリオやビッグ・バンドの活動など、ジャズの最前線で活躍を続ける。また、クラシックにも本格的に取り組み、NYフィル、サンフランシスコ響、シカゴ交響楽団等と共演。2019年、小曾根真featuring No Name Horsesの15周年記念アルバム「Until We Vanish」を、2022-23年には初のベスト版「THE BEST」をリリースし、全国ツアーを進行。2021年には選歴を迎え、「OZONE60」プロジェクトを全国47都道府県で展開。現在、「From OZONE till Dawn」と題した若手音楽家の育成プロジェクトにも取り組み、後進の育成にも努めている。平成30年度紫綬褒章受章。オフィシャル・サイト <https://makotoozono.com/>



管弦楽

Nagoya Philharmonic Orchestra

名古屋フィルハーモニー交響楽団

日本有数のオーケストラの一つとして、愛知県名古屋市を中心に東海地方の音楽界をリードし続けている。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信し、「名フィル」の愛称で地元では親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。2023年4月より、名フィル指揮者・正指揮者を12季務めた川瀬賢太郎が音楽監督に就任。現在の指揮者陣には小泉和裕(名誉音楽監督)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねている。また2023年4月には小出稚子が第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。楽団創立は1966年。1973年に財団法人に、2012年に公益財団法人となる。2013年に東海市、2016年に愛知県立芸術大学、2018年に豊田市と、それぞれ音楽教育の推進や文化芸術の振興を目的とした協定を締結している。現在は、意欲的なプログラミングの「定期演奏会」をはじめ、親しみやすい「市民会館名曲シリーズ」、障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」など、バラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演している。



豊田自動織機は、当コンサート入場料を活用して小学校訪問ミニコンサートを開催しています

～最高の音楽家がクラシック音楽を届けます～

子どもたちにこそ素晴らしい音楽を聴いてほしいと願い、小学校5、6年生を中心に、音楽室や体育館にて、世界で活躍する音楽家による演奏会を開催しています。大きなホールの舞台上ではなく、手を伸ばせば届きそうな間近で聴くことで、楽器の持つ音色や響き、演奏者の息遣いや想いを身体いっぱいと感じてもらいます。心のごもった生の音楽の美しさに触れることが、子どもたちの豊かな心の成長に繋がることを願って、これからも活動を続けてまいります。

延べ 24,246人#の
子どもたちに届きました。
※2010年～2022年



これまでに協力いただいた音楽家の皆様

- ヴァイオリン 青木尚佳、漆原啓子、奥村愛、川久保陽紀、川田知子、木嶋真優、城戸かれん、久保田巧、郷古藤、周防亮介、崔文洙、戸田弥生、長原幸太、堀米ゆず子、正戸里佳、松田理奈、松山冨花、三浦文彰、南紫音、山口裕之、有希マユエラ・ヤンケ、弓新、米元響子、渡辺瑠子
- チェロ 遠藤真理、上村昇、木越洋、佐藤晴真、辻本玲、原田禎夫、藤森亮一、古川展生、向山佳絵子、安田謙一郎、山崎伸子、横坂源
- フルート 新村理々愛
- ピアノ 阿部裕之、新居由佳梨、居福健太郎、今西泰彦、ウラディミール・イヴァノフ=ラキエフスキー、江沢茂敏、エマニュエル・リモルディ、大須賀恵里、岡田将、加藤洋之、小森谷裕子、小林海都、塩入俊哉、實川風、鈴木華重子、鈴木慎崇、高木梓、多賀谷祐輔、竹内真紀、田村響、津田裕也、寺嶋陸也、沼沢淑音、林絵里、百武恵子、広海淑子、マシュー・ロー、水本桂、村田千佳、室井悠季、ヤコブ・ロイシュナー、安宅薫、山中惇史
- ギター エマニュエル・セグレ
- クラリネット 吉田誠
- 合唱・合奏 新イタリア合奏団、ラトヴィア放送合唱団

この演奏会は、NHK交響楽団の首席チェロ奏者であった徳永兼一郎氏の遺志を継ぎ発足したNPO法人「子どもに音楽を」(理事長:徳永扶美子)と協業にて実施しています。